

インフラストラクチャー メンテナンス研究所

住み続けられる社会・街づくり



所長 須藤 敦史 (工学部 都市マネジメント学科 教授)

本研究所はインフラストラクチャーを対象として点検データに基づく劣化現象のモデル構築および劣化度の評価とその予測し、加えて最適な補修・改修戦略に関する維持管理事業におけるコスト最適化(縮減)やインフラストラクチャーの長寿命化を図ることを目的としています。

研究キーワード

●インフラストラクチャー ●メンテナンス ●維持管理 ●ログライフ化

研究内容

定期点検データ活用したインフラストラクチャーの劣化評価と予測手法の開発、および戦略的維持管理の支援を目的とする、1)既存の定期点検(離散・連続的な劣化評価値)データ活用に対する調査とともに劣化状態における把握、2)不規則なインフラストラクチャーの劣化遷移現象を確率過程で記述して、現状の評価と将来予測手法の開発、更に3)ライフサイクルコストの考え方に基づいたインフラストラクチャーの戦略的な維持管理の支援システムの構築、同時に異なる自治体等が保有するインフラストラクチャーの定期点検データを統一的に取扱うという実務的な問題解決、および補修に対する戦略的な意思決定支援や将来の自然災害リスクの評価を実施します。



点検システム開発状況1(実地試験)



点検システム開発状況2(実地試験)

